

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 18-243

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

・研究課題名：骨軟部腫瘍患者のビタミンB1欠乏症の実態

・目的： ビタミンB1欠乏によるウェルニッケ脳症やせん妄は臨床現場において過小評価あるいは見落とされがちです。当院では、精神腫瘍科チームの啓蒙により、担がん患者のせん妄に対してビタミンB1欠乏を鑑別に入れ積極的に治療を行っています。以前の骨転移患者を対象とした後向き観察研究では、入院を要する骨転移患者のビタミンB1欠乏率は少なくとも14%と高く、意識障害・認知機能障害と関係し、その半数以上がビタミンB1補充により改善したことが分かりましたが、全例に採血を行っておらず、また良性腫瘍の患者さんを対象としておらず、その詳細は不明です。本研究の目的は、不顕性を含む骨・軟部腫瘍患者におけるビタミンB1欠乏症の実態を明らかとし、その危険因子を明らかとすることです。同じビタミンB群のビタミンB12と葉酸の欠乏により、倦怠感などの原因となるもあり、ビタミンB1測定の際に同じ採血でビタミンB12と葉酸の欠乏の有無も調査します。

・研究期間：2020年6月30日～2021年3月31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

： 採血検体の血中ビタミンB1濃度

③ 利用する者の範囲

： 埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍科・整形外科 今西淳悟

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 骨軟部組織腫瘍科・整形外科 今西淳悟